

千葉大学における日本語研修コース（日本語予備教育）の 20 年
—1993 年度後期～2013 年度前期—

佐藤 尚子

The Intensive Japanese Language Course at Chiba University from 1993 to 2013

Naoko Sato

要旨

本報告は、1993 年 10 月に開設された日本語研修コース（日本語予備教育）の 20 年間の記録である。20 年間に 85 か国から来た 493 名がこの日本語研修コースで学んだ。

日本語研修コースが置かれている状況により 20 年間を 4 期に分けて述べた。

このコースの修了生のうち、研究留学生は多くが大学院に進学し、学位を得ている。また、教員研修生は母国に帰国し、教員として活躍している。そして、2011 年度より修了生の数名がセミナーの講師として来日し、日本人在学生の教育に貢献している。

Abstract

This report gives an account of the twenty years of the Intensive Japanese Language Course (Nihongo Yobi Kyōiku) at Chiba University since its establishment in October, 1993. 493 international students from 85 countries studied Japanese at this course over the above period. The twenty years of study dealt with in this report are divided into four periods based on the dynamics of the course and changing circumstances or conditions. Many former students at this course were later admitted to graduate schools and obtained academic degrees in their areas of expertise, while teacher trainees returned continue their professional career teaching at schools in their countries. Several participants in the course have later been invited to Chiba University as guest lecturers and made their contribution towards educating Japanese students.

1. はじめに

1993 年 10 月に千葉大学旧留学生センターに日本語研修コース（日本語予備教育）が開設された。その後、20 年にわたって、大使館推薦国費留学生を主な対象とする予備教育生に対し、集中的な日本語教育を行ってきた¹⁾。しかしながら、日本語科目の改編が行われ、移行期を経て、2013 年度後期より集中日本語教育を行わないこととなった。本稿は、予備教育生に対して集中的に日本語教育を行った日本語研修コース（日本語予備教育）20 年の報告である。

2. 受講した予備教育生

20 年間に受講した学生は 85 か国 493 名（男子学生 270 名、女子学生 223 名）である。表 1 に内訳を示した。予備教育開始時の日本語のレベルは初心・初級レベルが 411 名、中級レベルが 82 名であった。また、学生を種類別に見ると、大使館推薦国費研究留学生が 286 名、教員研修生 129 名、大学推薦国費研究留学生 43 名、私費の研究生など 35 名であった²⁾。

予備教育終了後、千葉大学へ進んだ学生は 403 名、その他の大学へ進んだ学生は 90 名だった。第 9 期（1997 年度後期）までは、留学生センターが設置されていない大学の予備教育を千葉大学で行っていたため、他大学へ進む学生が多かったが、留学生センターの設置が進んだため、第 10 期（1998 年度前期）以降は、千葉工業大学、明海大学など千葉県内の私立大学へ進む学生が時々配置されるようになった。

学生の出身国別ではタイの 52 名が最も多く、インドネシア 46 名、中国 39 名、韓国・フィリピン各 34 名、ブラジル 25 名がそれに続く（表 2 参照）。第 1 期～第 40 期の国別の人数は資料 1 に示した。

3. 教室

第 1 期（1993 年度後期）の授業が行われたときは、現在、国際教育センターが使用している建物が建築中であったため、附属小学校の敷地内にある古い建物を改修して、半期だけ使用した。1994 年 4 月に現在の国際教育センター棟が完成し、それ以降は、センター内にある教室を使用した。

1994 年に完成した、現在、国際教育センターが使用している建物の教室には、長く、冷房の設備がなく、暑さのため、タイ人の学生が教室で具合が悪くなったこともあった。

表1 各期の予備教育生（人）

期	予備教育期間	合計 人数	性別		日本語 のレベ ル		学生の類別				進学先	
			男	女	初 級	中 級	費大 研使 究館 留推 学薦 生国	教 員 研 修 生	研大 究学 留推 学薦 生国 費	そ の 他	千 葉 大 学	そ の 他
第1期	1993年度後期	16	10	6	14	2	10	6	0	0	13	3
第2期	1994年度前期	13	7	6	10	3	13	0	0	0	5	8
第3期	1994年度後期	22	12	10	20	2	7	15	0	0	5	8
第4期	1995年度前期	18	11	7	18	0	18	0	0	0	6	12
第5期	1995年度後期	18	10	8	15	3	6	12	0	0	7	11
第6期	1996年度前期	21	11	10	21	0	21	0	0	0	7	14
第7期	1996年度後期	12	4	8	9	3	4	7	1	0	8	4
第8期	1997年度前期	23	14	9	23	0	23	0	0	0	8	15
第9期	1997年度後期	16	11	5	12	4	10	4	2	0	13	3
第10期	1998年度前期	12	4	8	12	0	12	0	0	0	12	0
第11期	1998年度後期	19	13	6	17	2	9	4	6	0	19	0
第12期	1999年度前期	10	7	3	6	4	10	0	0	0	10	0
第13期	1999年度後期	13	6	7	7	6	8	4	1	0	13	0
第14期	2000年度前期	18	9	9	18	0	17	0	0	1	18	0
第15期	2000年度後期	12	8	4	3	9	7	4	0	1	12	0
第16期	2001年度前期	10	4	6	2	8	8	0	0	2	10	0
第17期	2001年度後期	11	2	9	6	5	3	7	0	1	11	0
第18期	2002年度前期	10	8	2	9	1	10	0	0	0	9	1
第19期	2002年度後期	17	7	10	11	6	8	6	0	3	16	1
第20期	2003年度前期	13	11	2	13	0	12	0	0	1	12	1
第21期	2003年度後期	13	6	7	11	2	1	6	6	0	13	0
第22期	2004年度前期	7	3	4	7	0	7	0	0	0	7	0
第23期	2004年度後期	11	8	3	8	3	0	6	4	1	11	0
第24期	2005年度前期	14	8	6	12	2	14	0	0	0	13	1

第 25 期	2005 年度後期	10	3	7	7	3	0	7	3	0	10	0
第 26 期	2006 年度前期	11	6	5	10	1	10	0	0	1	11	0
第 27 期	2006 年度後期	19	7	12	13	6	3	11	4	1	19	0
第 28 期	2007 年度前期	11	8	3	10	1	8	0	0	3	11	0
第 29 期	2007 年度後期	13	5	8	10	3	0	8	2	3	13	0
第 30 期	2008 年度前期	7	6	1	7	0	4	0	0	3	7	0
第 31 期	2008 年度後期	10	5	5	10	0	0	6	2	2	10	0
第 32 期	2009 年度前期	9	6	3	9	0	3	0	0	6	9	0
第 33 期	2009 年度後期	9	7	2	9	0	2	2	4	1	9	0
第 34 期	2010 年度前期	7	2	5	6	1	6	0	1	0	7	0
第 35 期	2010 年度後期	4	1	3	3	1	1	3	0	0	4	0
第 36 期	2011 年度前期	9	4	5	9	0	6	0	1	2	8	1
第 37 期	2011 年度後期	7	4	3	7	0	1	4	2	0	7	0
第 38 期	2012 年度前期	5	4	1	4	1	3	0	0	2	5	0
第 39 期	2012 年度後期	12	7	5	12	0	0	7	4	1	12	0
第 40 期	2013 年度前期	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
計		493	270	223	411	82	286	129	43	35	403	90

表 2 学生が多い上位の国（人）

順位	国名	人数
1	タイ	52
2	インドネシア	46
3	中国	39
4	韓国	34
4	フィリピン	34
6	ブラジル	25
7	メキシコ	15
7	ミャンマー	15
9	マレーシア	13
10	バングラデシュ	11

4. クラス編成と授業内容

クラス編成と授業内容はそのときの大学の状況等を反映して、大きく4つの時期に分けられる。

4. 1 第1期（1993年度後期）～第21期（2003年度後期）

1993年10月に日本語研修コースは、担当専任教員2名、学生定員30名、不完全ながら3クラス体制で始まった。授業は週15コマ、17週間実施した。その後、非常勤講師の削減により、不完全な3クラス体制または2クラス体制で、第21期（2003年度後期）まで、クラスの運営を行った。

表3は第1期の時間割である。このときは冬休みを挟んで、前半と後半に分け、異なった時間割で授業を行った。

第1期で使用した初級の教科書は、『Situational Functional Japanese Notes』Vol.1～3、『Situational Functional Japanese Drills』Vol.1～3（凡人社）、漢字は『Basic Kanji Book』Vol.1～2（凡人社）を使用した。その後、第38期（2012年度前期）まで『Situational Functional Japanese』を、第32期（2009年度前期）まで『Basic Kanji Book』を使用した。

表3 第1期の時間割

<前半> 1993年10月14日～12月22日

	月	火	水	木	金
2限	教科書 1組：佐藤雄一 2組：山下	会話 1,2組：畠 3組：小野	文法 1～3組 畠	教科書 1組：佐藤尚子 2組：足立	会話 1組：佐藤雄一 2,3組：佐藤尚子
3限	3組：村田	教科書 1組：畠 2組：山下 3組：小野	佐藤尚子	3組：村田	教科書 1組：佐藤雄一 2組：光信 3組：佐藤尚子
4限	漢字 1,2組：山下 3組：村田	専門語彙 1,3組：畠 2組：山下	個別指導 1～3組 畠 佐藤尚子	漢字 1,2組：佐藤尚子 3組：足立	読解 1,3組：佐藤尚子 2組：光信

<後半> 1994 年 1 月 10 日～3 月 4 日

	月	火	水	木	金
2 限	教科書 1 組：村田 2 組：佐藤雄一 3 組：山下	読解 1 組：畠 2,3 組：小野	文法 1～3 組 畠 佐藤尚子	作文 1 組：足立 2,3 組：佐藤雄一	読解 1 組：佐藤雄一 2,3 組：佐藤尚子
3 限	漢字 1 組：山下 2 組：村田 3 組：佐藤雄一	会話 1 組：山下 2 組：小野 3 組：畠		教科書 1 組：村田 2 組：佐藤雄一 3 組：足立	会話 1 組：佐藤尚子 2 組：佐藤雄一 3 組：光信
4 限	ワープロ 1 組 村田 読解 山下	専門語彙 文系：山下 理系：畠	個別指導 1～3 組 畠 佐藤尚子	ワープロ 2 組 村田 読解 足立	漢字 1 組：光信 2 組：佐藤尚子 3 組：佐藤雄一

4. 2 第 22 期（2004 年度前期）～第 27 期（2006 年度後期）

2004 年 4 月に千葉大学が国立大学法人となり、法人化の際に日本語教育の非常勤講師が約 25%削減された。これを受け、また、日本語研修コースに配置される学生が減少していたことから、日本語研修コースの専用のクラスは初級 1 クラスとなり、中級の学生が来た場合には、その他の身分の学生といっしょに中級の日本語の授業を受けることとなった。初級は、週 15 コマ、15 週間授業を行った。

2006 年度をもって、担当専任教員 1 名が退職した。

表 4 は第 22 期生の時間割である。

表 4 第 22 期生の時間割

	月	火	水	木	金
1 限	9:30-10:20 CAI		9:30-10:20 CAI		9:30-10:20 CAI
2 限	教科書 畠	教科書 畠	CAI 佐藤尚子	作文 佐藤尚子	会話 稲村
3 限	教科書 飯島	漢字 畠	生活指導 新倉・見城	教科書 村田	ビデオ 稲村
4 限	漢字 飯島	会話 畠	教科書 畠	教科書 村田	漢字 畠

4. 3 第 28 期（2007 年度前期）～第 38 期（2012 年度前期）

2007 年度前期から日本語研修コースの学生専用のクラスをなくし、半期で初級をすべて学ぶ日本語科目「日本語 100」（集中）を開設した。日本語研修コースの学生は優先してこ

のクラスを受講し、日本語研修コースの学生以外の身分の学生も受講できるようになった。2007年度前期の日本語100は週13コマ授業が行われたが、それ以降は週11コマ、15週間授業を行った。2010年度末にCAI教室が廃止され、それ以降、CAIを使用した授業は行われなくなった。第33期生（2009年度後期）から漢字の教科書を『留学生のための漢字の教科書初級300』（国書刊行会）に変更した。

表5は「日本語100」（2007年度前期）の時間割である。

表5 日本語100（2007年度前期）の時間割

	月	火	水	木	金
2限	漢字 佐藤雄一	漢字・読解 小高	CAI 佐藤尚子	作文 佐藤尚子	教科書 白石
3限	教科書 飯島	教科書 小高	Life in Japan 新倉・見城	教科書 村田	教科書 白石
4限	教科書 飯島			教科書 村田	漢字 川口

4. 4 第39期（2012年度後期）～第40期（2013年度前期）

日本語科目の改編により、日本語研修コースの学生を優先したクラスの設置を行わないことになった。第39期は日本語100が開設される最後の学期となった。日本語100では教科書と作文の授業を行い、会話と漢字は他のクラスを受講した。教科書が『げんき』（ジャパントイズム）に変更になった。第40期生は日本語研修コースの学生が1人であったため、学生のレベルに合わせて、2つのレベルを受講した。『Life in Japan』も第39期で終わり、第40期からクラスを設けず、個々の文化体験プログラム（書道、茶道、折り紙など）に各自が申し込む形になった。

表6は「日本語100」（2012年度後期）、表7は2つのレベルを受講した第40期生の時間割である。

5. 課外授業等

5. 1 開講式・閉講式

第1期（1993年度後期）から第17期（2001年度後期）までは学長または副学長、指導教員の出席の下、日本語研修コースの開講式と閉講式が行われた。また、第17期までは閉講式のあとで、終了祝賀会も行われた。

それ以降、式典等は簡素化の方向に向かい、第19期（2002年度後期）、第21期（2003年度後期）、第23期（2004年度後期）、第25期（2005年度後期）、第27期（2006年度後期）は日本語研修コースとJ-PACなど短期留学プログラムの合同開講式が行われた。この間、

表 6 日本語 100 (2012 年度後期) の時間割

	月	火	水	木	金
2 限		会話 白石 (日本語 114)		漢字 佐藤尚子 (日本語 132)	教科書 稲村
3 限	教科書 飯島	教科書 小高	Life in Japan 見城	教科書 村田	教科書 稲村
4 限		教科書 小高	作文 佐藤尚子	教科書 村田	

表 7 第 40 期の時間割

	月	火	水	木	金
1 限	日本語 201 (総合) 田島	日本語 204 (会話) 白石	日本語 201 (総合) ハウダ		日本語 201 (総合) 稲村
2 限	日本語 101 (総合) 小高	日本語 104 (会話) 白石	日本語 101 (総合) ハウダ	日本語 302 (漢字) 佐藤尚子	日本語 101 (総合) 稲村
3 限		日本語 105 (文書表現) 小高	文化体験		
4 限		日本語入門 ハウダ			

日本語研修コースの合同開講式が行われない前期の開講式とすべての閉講式は単独で行われ、修了生がスピーチを行った。

第 28 期 (2007 年度前期) からは開講式・閉講式は行わず、スピーチは最後の授業で行うようになった。そして、第 40 期 (2013 年度前期) からはスピーチも行わないこととした。

5. 2 文集の作成

閉講式のスピーチとともに、成果発表の一環として、各期で文集を作成している。学生が書いた作文を、日本語入力の練習もかねて、パソコンに入力し、文集に掲載している。第 1 期 (1993 年度後期) ～第 27 期 (2006 年度後期) は外部に印刷を依頼したが、経費削減のため、第 28 期 (2007 年度前期) 以降は担当教員が作成している。

5. 3 ホームステイ・ホームビジット

指導相談部門の教員担当のもと、第1期（1993年度後期）よりホームステイを、第4期（1995年前期）よりホームビジットを行った。ホームビジットは来日して2ヶ月たった頃に2、3人のグループで日本人家庭を訪問し、数時間滞在するプログラムである。ホームステイは来日して3ヶ月程度たった頃に1人で日本人家庭に1泊するプログラムである。第2期（1994年前期）から木更津市国際交流協会と連携して、ホームステイ・プログラムを行い、多くの学生が日本の生活、日本の文化を知ることができた。当初は、積極的に参加するように奨励していたが、最近は可能な範囲での参加になっている。

5. 4 旅行等

日本語研修コースが開始されていた当時は、国費留学生には研究旅費や見学旅費が支給されていた。このような旅費を使い、第1期（1993年度後期）から第17期（2001年度後期）までは京都旅行を行った（第3期は日光へ行った）。また、第5期（1995年度後期）までは歌舞伎鑑賞や千葉県立房総のむら等の見学も行った。

6. おわりに

日本語研修コースで予備教育を受け学生のうち、研究留学生のほとんどは大学院に進学し、博士ないし修士の学位を取得している。教員研修生は教育学部で1年間の研修を受け、母国に帰国し、教員として活躍している。

2011年度より、千葉大学では「世界で活躍する千葉大学帰国留学生に学ぶ世界の研究と教育」という公開セミナーを開催している。このセミナーには、この研修コースで学んだ1期生のInocencio E. Buot, Jr.氏（フィリピン：フィリピン大学経営開発学部教授）、4期生のTie Moe New氏（ミャンマー：マレーシア・サラワク大学基礎医学部准教授）、13期生のHussam Hesham Al-Bilbisi氏（ヨルダン：ヨルダン大学地理学部准教授）、16期生のRokhmatuloh氏（インドネシア：インドネシア大学気候変動研究センター講師）が講師として来日し、それぞれの研究活動や母国の紹介などを行い、在学生の教育に貢献している。今後も、修了生はいろいろな形で千葉大の教育・研究に貢献することだろう。

なお、日本語科目の改編により、2013年度後期より、予備教育生は、それぞれの日本語能力のレベルに合った科目を組み合わせ、1週間に7コマの日本語の授業を受けることになった。そのほかに、希望者のみ、茶道、書道、折り紙など日本文化を体験するプログラムやホームステイ、ホームビジットのプログラムに可能な範囲で参加することになった。

注

- 1) 2000年度から始まった日韓共同理工系学部留学生事業の学生を日本語研修コースに受け入れ、6か月の日本語予備教育を行っているが、この予備教育は本報告の対象としない。

- 2) 日本語研修コースの対象は、大使館推薦国費研究留学生および教員研修生であるが、指導教員から依頼があった大学推薦国費研究留学生、私費の学生も受け入れた。

参考文献

佐藤尚子：千葉大学日本語研修コース修了生調査報告書 1（1 期生～10 期生の動向および 1 期生～7 期生の研究留学生に関する調査）、千葉大学留学生センター紀要、5、1999、p.96-134

佐藤尚子：千葉大学日本語研修コース修了生報告書 2（1 期生～7 期生の教員研修生および修士号を取得して帰国した研究留学生等に関する調査と 1 期生～13 期生の動向）、千葉大学留学生センター紀要、6、2000、p.127-158

千葉大学国際教育センター：多様な立場で学び、育つ国際教育をめざして、千葉大学国際教育センター自己点検評価・外部評価報告書、2013

千葉大学留学生センター：異文化への新しい旅立ち、千葉大学留学生センター自己点検・評価報告書、2003

資料1 第1期生～第40期生の出身国（人）

	期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	(アジア・中東)														
1	タイ	2	2	6	6		3	1	4	1	2			1	4
2	インドネシア				1	2		1	1						
3	中国	1		1				1				1		2	
4	韓国	2		2		3		1		2				1	
5	フィリピン	3		4	1	2		2		2	2	2		2	1
6	ミャンマー			1	1	1	4		2				1		
7	マレーシア				3	1		1	2				1		
8	バングラデシュ						1					1	1		2
9	イラン					1			1	2					
10	パキスタン								1						
11	トルコ		1						1						1
12	インド					1						1			
13	ネパール	2										1			
14	ベトナム											1			
15	ラオス								1	1					
16	モンゴル								1						
17	ヨルダン						1							1	1
18	オマーン							1					1		
19	シリア			1										1	
20	シンガポール					1		1							
21	ブルネイ・ダルサラーム					1									
22	カンボジア														
23	レバノン											1			
24	バーレーン						1			1					
25	スリランカ						1								
26	クウェート														
27	パレスチナ														
28	イスラエル														1

	期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	(南北アメリカ)														
29	ブラジル	1	3	1	1	1	3		1	1	2		1		1
30	メキシコ	1		2			1		2				1		
31	アメリカ合衆国							1		1	1			1	1
32	アルゼンチン									1				1	1
33	パラグアイ	1							1	1			1		
34	ペルー			1	1	1									
35	コスタリカ														
36	ホンジュラス			1											
37	カナダ													1	
38	グアテマラ						1								
39	ドミニカ								1						
40	エルサルバドル														
41	パナマ				1										
42	ベネズエラ	1		1											
43	チリ														
44	キューバ														
45	エクアドル		1												
46	コロンビア		1												
	(アフリカ)														
47	エジプト		1		1		2		1						
48	ナイジェリア														
49	ケニア											1			1
50	ガーナ		1					1				1			
51	アルジェリア						1								
52	モロッコ		1				1			1					
53	スーダン	1	1												
54	エチオピア														
55	南アフリカ共和国							1							
56	チュニジア					1									
57	ウガンダ														
58	ガボン														
59	セネガル									1					

千葉大学における日本語研修コース（日本語予備教育）の20年—1993年度後期～2013年度前期—

	期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
60	モーリタニア			1											
61	カメルーン								1						
	(オセアニア)														
62	パプア・ニューギニア										1				1
63	ソロモン諸島														
64	ニュージーランド				1							1			
65	フィジー														
	(ヨーロッパ)														
66	ロシア				1	1	1						1	1	
67	スペイン								1		1				
68	イタリア														1
69	ドイツ									1				1	
70	フランス											1			
71	ブルガリア										1				1
72	ハンガリー														
73	ノルウェー														
74	オーストリア								1						
75	ギリシャ		1									1			
76	マケドニア														
77	ウクライナ														
78	フィンランド														
79	ポーランド														
80	イギリス												1		
81	ルーマニア											1			
82	ラトビア											1			
83	ポルトガル										1				
84	ベルギー					1									
85	マルタ	1													
	期別人数 計	16	13	22	18	18	21	12	23	16	12	19	10	13	18

	期	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	(アジア・中東)														
1	タイ			2		1		2	2	2	2	2	1	1	1
2	インドネシア	1	3		3	1	2	2	1	1	4	1	1	2	
3	中国	1				2		1		4				2	3
4	韓国	2		4		3		2		1		3		3	
5	フィリピン		2		1	1	2		1		1	1		1	1
6	ミャンマー							1						1	
7	マレーシア	1								1				1	
8	バングラデシュ	1						2				1		1	
9	イラン												1	1	1
10	パキスタン	1			1	1						1	1		
11	トルコ														
12	インド			1			2							1	
13	ネパール														
14	ベトナム							1						1	
15	ラオス														
16	モンゴル											1			
17	ヨルダン						1								
18	オマーン														
19	シリア														
20	シンガポール														
21	ブルネイ・ダルサラーム														
22	カンボジア														
23	レバノン														
24	バーレーン														
25	スリランカ														
26	クウェート										1				
27	パレスチナ					1									
28	イスラエル														

千葉大学における日本語研修コース（日本語予備教育）の20年—1993年度後期～2013年度前期—

	期	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	(南北アメリカ)														
29	ブラジル		1		2		1			1	1				
30	メキシコ							2						1	1
31	アメリカ合衆国					1									
32	アルゼンチン						2					1			
33	パラグアイ													1	
34	ペルー									1			1		
35	コスタリカ								1				1		
36	ホンジュラス						1				1				
37	カナダ			1											
38	グアテマラ														1
39	ドミニカ														
40	エルサルバドル						1					1			
41	パナマ	1													
42	ベネズエラ														
43	チリ														
44	キューバ												1		
45	エクアドル														
46	コロンビア														
	(アフリカ)														
47	エジプト				1										1
48	ナイジェリア					2									1
49	ケニア						1								
50	ガーナ								1						
51	アルジェリア										1		1		
52	モロッコ														
53	スーダン														
54	エチオピア														
55	南アフリカ共和国														
56	チュニジア														
57	ウガンダ														
58	ガボン														
59	セネガル														

	期	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
60	モーリタニア														
61	カメルーン														
	(オセアニア)														
62	パプア・ニューギニア														1
63	ソロモン諸島										1				
64	ニュージーランド														
65	フィジー														
	(ヨーロッパ)														
66	ロシア													1	
67	スペイン										1		1		
68	イタリア				1						1				
69	ドイツ					1									
70	フランス		2												
71	ブルガリア	1													
72	ハンガリー			1		1									
73	ノルウェー	1			1										
74	オーストリア		1												
75	ギリシャ														
76	マケドニア														
77	ウクライナ		1												
78	フィンランド	1													
79	ポーランド	1													
80	イギリス														
81	ルーマニア														
82	ラトビア														
83	ポルトガル														
84	ベルギー														
85	マルタ														
	期別人数 計	12	10	11	10	17	13	13	7	11	14	10	11	19	11

千葉大学における日本語研修コース（日本語予備教育）の20年—1993年度後期～2013年度前期—

	期	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	国別計
	(アジア・中東)													
1	タイ	1							1	1		1		52
2	インドネシア		2	3	2	1	1			2		1		46
3	中国	3	2	2	4	3			1	2		3		39
4	韓国	2			1			1		1				34
5	フィリピン	1										1		34
6	ミャンマー	2						1						15
7	マレーシア					1						1		13
8	バングラデシュ											1		11
9	イラン										1			8
10	パキスタン		1			1								8
11	トルコ		1				2			1				7
12	インド								1					7
13	ネパール										2			5
14	ベトナム					1								5
15	ラオス											2		4
16	モンゴル				1			1						4
17	ヨルダン													4
18	オマーン					1								3
19	シリア													3
20	シンガポール													3
21	ブルネイ・ダルサラーム													3
22	カンボジア	1												2
23	レバノン							1						2
24	バーレーン													2
25	スリランカ													2
26	クウェート			1										1
27	パレスチナ													1
28	イスラエル													1

	期	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	国別計
	(南北アメリカ)													
29	ブラジル						1		1		1			25
30	メキシコ	1									1	1	1	15
31	アメリカ合衆国													6
32	アルゼンチン													6
33	パラグアイ													5
34	ペルー													5
35	コスタリカ				1									3
36	ホンジュラス													3
37	カナダ													2
38	グアテマラ													2
39	ドミニカ								1					2
40	エルサルバドル													2
41	パナマ													2
42	ベネズエラ													2
43	チリ				1									1
44	キューバ													1
45	エクアドル													1
46	コロンビア													1
	(アフリカ)													
47	エジプト	1	1											9
48	ナイジェリア						1							4
49	ケニア			1										4
50	ガーナ													4
51	アルジェリア													3
52	モロッコ													3
53	スーダン								1					3
54	エチオピア								2					2
55	南アフリカ共和国								1					2
56	チュニジア						1							2
57	ウガンダ					1								1
58	ガボン			1										1
59	セネガル													1

千葉大学における日本語研修コース（日本語予備教育）の20年—1993年度後期～2013年度前期—

	期	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	国別計
60	モーリタニア													1
61	カメルーン													1
	(オセアニア)													
62	パプア・ニューギニア													3
63	ソロモン諸島			1										2
64	ニュージーランド													2
65	フィジー											1		1
	(ヨーロッパ)													
66	ロシア	1												7
67	スペイン													4
68	イタリア													3
69	ドイツ													3
70	フランス													3
71	ブルガリア													3
72	ハンガリー													2
73	ノルウェー													2
74	オーストリア													2
75	ギリシャ													2
76	マケドニア						1							1
77	ウクライナ													1
78	フィンランド													1
79	ポーランド													1
80	イギリス													1
81	ルーマニア													1
82	ラトビア													1
83	ポルトガル													1
84	ベルギー													1
85	マルタ													1
	期別人数 計	13	7	10	9	9	7	4	9	7	5	12	1	493